子育て通信 10 カナリヤ

発行 第347号 2024. 10. 1.

時津町子育て支援センター『こばとの家』
長崎県西彼杵郡時津町西時津郷 1000－10
支援センター　TEL095-882-7455
保　育　園　　TEL095-882-4559
FAX095-882-4901
ホームページ
https://www.togitsukobato.jp

～両手でピースサイン！かっこいいね～

～葉っぱのおもちゃを持って、はいポーズ～

『あなたのぬくもりをおぼえてる』

時津こばと保育園
園長　嘉村　望

いつもそばで　笑っていた
あなたの　その横顔
いつもそばに　溢れてた
あなたの　優しい言葉

一人の　夜も　あの日のように
この瞳を閉じれば
全ての優しく包み込むような
あなたのぬくもりをおぼえてる

いつの日も　おぼえている
あなたの　そのまなざし
いつの日も　変わらない
あなたがくれたぬくもり

静かに　何も　言わずにそっと
ほほに　触れる　手のひら
こぼれた涙をぬぐい去るような
あなたのぬくもりを感じてる

そう　いつでも
この背中　押していた

一人の　夜も　あの日のように
この瞳を閉じれば
全ての優しく包み込むような
あなたのぬくもりをおぼえてる

あなたのぬくもりをおぼえてる

歌：手嶌　葵
作詞：Komei Kobayashi

支援センター　主任　本多文子が 2024 年 9 月 17 日天に召されました。病気治療をしながら、仕事をすることを喜びとして、最後の最後まで頑張り続けました。

支援センターを利用して下さる親子を優しい笑顔で迎え入れ、彼女の周りは、いつも幸せな空気に包まれていました。一人ひとりの気持ちに寄り添い、優しい言葉で励まし、そっと背中を押して勇気づけ、その人柄にどれだけの人が救われたでしょうか。

彼女のぬくもりは忘れることなく、彼女と関わったお一人お一人の心の中にしっかりと刻み込まれていることと思います。

彼女に代わり、残されたご家族、スタッフ、友人、出会えたすべての皆様に「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えたいと思います。これからも彼女の笑顔の写真と共に来てくださった方々を出迎えたいと思っております。

１０月子育てワンポイント

『絵本の習慣』

子どもに絵本を読み聞かせることは、子どもの成長においてとても大切です。絵本は子どもにとって、文字や言葉の発達を促すだけではなく、心の成長・発達のために欠かせない存在だと言われています。親が子どもに絵本を読んであげる**「読み聞かせ」**には様々なメリットがあります。

① 親子でコミュニケーションがとれる

子どもを膝の上に乗せたり、近い距離で本を読んだりすることで、親子の親密度が高まり、信頼関係が強くなります。また、絵本を読んでもらうことで、親の愛情を感じ、子どもの自己肯定感も得られるでしょう。

② 感性を豊かにする

絵本の読み聞かせを通して、子どもは登場人物の行動や心情を自分のことのように疑似体験したり、登場人物になりきって嬉しさや悲しさ、痛みなど様々な感情に触れ、他人の感情や思いを知ることができます。これらの経験は、豊かな感性や想像力を身につけて社会の中で生きる力の基礎を育みます。

③ 語彙力を伸ばす

絵本の中の様々な言葉に触れることは、語彙力や言語能力を身につけ、読解力やコミュニケーション能力の向上にもつながるでしょう。

絵本の読み聞かせは、習慣化すると良いでしょう。読み聞かせを習慣化することは、子ども自身の読書の習慣につながります。

例えば…

- 寝る前などの決まった時間に絵本を読んであげる。
- 子どもが絵本に触れる機会を増やす。
  →子どもの手に取りやすい場所に本棚を置くと、子どもが興味を持ちやすい。

絵本を読むのが義務になると辛いし、長続きしません。短い絵本から始めたり、時には自分が読みたい本を選ぶなど、親自身も絵本の世界を楽しんでみてください。
時にはスマートフォンやタブレットを置いて、紙の本を読んでみませんか？

親子製作～写真立てをつくりました～

９月の親子製作では、敬老の日にプレゼントするための写真立てを制作しました。
子どもたちやお母さんのアイデアあふれる素敵な写真立てができましたよ。

季節を感じる外遊びを楽しもう

暑さも少し和らいで、涼しい風に高く澄んだ空。夏にはできなかった外遊びが楽しめる季節になってきましたね。子どもたちと一緒に、「秋」を探しに外へ出かけてみませんか。

秋の宝さがし

- 黄色や赤色の葉っぱ
- どんぐり
- ねこじゃらし
- いい香りがするお花や葉っぱ
- 穴があいた葉っぱ
- まつぼっくり
- せみのぬけがら
- ぎざぎざの葉っぱ
- 木の実
- 秋の虫

等

テーマを決めて、公園やお散歩の道の途中等で、自然にあるものを探してみましょう。
数や速さを競うのではなく、自然を楽しみながら子どもたちが「おもしろい！」と思うものを探してみるといいですね。見つからないものがあっても大丈夫！
色んな形、大きさ、におい、感触など子どもたちの“発見”を、一緒に楽しんでください♪